

生徒が元気に過ごす学校 元気プロジェクトの推進

- ・生徒一人ひとりに十分に目を向け、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒が自ら課題に立ち向かい、自分の良さを伸ばしていけるよう支援の充実に取り組む。

元気プロジェクトグループ

支援教育の充実～一人ひとりの支援ニーズを的確に把握し、早期対応に努める

- ①全てのプロジェクトの根幹ともなる。一人ひとりの生徒が学校を肯定的にとらえ、学校生活が楽しいと思えるよう、きちんとした中にも互いに居心地の良い学校を目指す。
- ②そのために、正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると生徒たちが自ら堂々と声をあげることができる基盤となる環境整備に努める。
※生徒の良い点を認め、褒める。「善行表彰制度」の見直し、再確認をし積極的な運用を図る。
- ③「やる気プロジェクト（生徒会等）」との連携を図り、教師側からの働きかけだけでなく、生徒どうしが進める「より良い学校づくり」を意図的に取り入れていく。
- ④これらの取り組みを大切する中で、支援が必要な生徒への積極的な働きかけを充実していく。特に他機関、関係機関との連携を図る。
※心のつぶやきの意図や意味を生徒と再確認し、より実効性の高いものとしていく。
- ⑤教職員の異動や教職経験が浅い教員が多い現状等も踏まえ、生活指導や生徒指導の良き教員文化の継承を意識し、生徒との接し方や必要な指導について共通実践ができるよう配慮していく。
※生徒指導、生徒支援通信等を活用した日々の研修及び実践の推進